

第16章 災害・消防・警察・海上保安

1 災 害	363
16-1 平成21年中の台風・大雨等による被害状況	364
16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況	364
16-3 年次別台風・大雨等被害状況	365
2 消 防	366
(1) 火災発生状況	
(2) 消防現勢	
16-4 市町村別の火災発生状況	367
16-5 月別火災発生状況	367
16-6 原因別火災発生状況	367
16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	367
16-8 消防現勢	368
3 警 察	369
(1) 交通事故発生状況	
(2) 刑法犯発生状況	
16-9 市町村別交通事故発生状況	370
16-10 刑法犯市町村別発生状況	371
4 海 上 保 安	372
16-11 海難事故の発生状況	372
16-12 海上における人身事故	373
16-13 機動力（巡視船艇）	373
16-14 民間救助組織	373
16-15 船舶交通安全協議会	374
16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	374
16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	374

1 災 害

平成21年は、大雨や台風18号によって災害が発生した。

人的被害についてはなかったが、被害総額では約1億3百万円となり、前年と比べて約3千5百万円減とわずかに減少した。

年間の被害額を項目別に見ると、農産被害が約6千9百万円（被害総額の67%）で最も多く、次いで農林水産業施設被害の約2千6百万円（同25.4%）などとなっている。

16-1 平成21年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
21.10. 6～ 7	台風18号	0	0	0	1	31	0	0	8
21.11.25	大 雨	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	1	31	0	0	8

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：平成21年1月～12月
 単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	0	0	0	0	8,501	0	8,501
大 和 村	0	0	899	0	0	0	899
宇 検 村	0	0	0	0	725	0	725
瀬 戸 内 町	0	0	0	0	634	0	634
龍 郷 町	0	0	0	0	2,284	0	2,284
喜 界 町	0	26,162	0	1,290	52,633	0	80,085
徳 之 島 町	0	0	0	0	0	0	0
天 城 町	0	0	0	5,000	4,120	570	9,690
伊 仙 町	0	0	0	0	0	0	0
和 泊 町	0	0	0	0	0	0	0
知 名 町	0	0	0	0	0	0	0
与 論 町	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818

資料：大島支庁総務企画課

期間：平成21年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)											備 考 被害地域等
農 林 水 産 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計		
26,162	0	6,290	68,897	0	570	0	0	0	101,919	奄美市 宇検村 瀬戸内町 龍郷町 喜界町 天城町	
0	899	0	0	0	0	0	0	0	899	大和村	
26,162	899	6,290	68,897		570				102,818		

16-3 年次別台風・大雨等被害状況

(数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課

期間：平成21年1月～12月

単位：千円

区 分 年 次	住 家 等	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	そ の 他	合 計
平成 10	8,602	173,350	1,279,300	300	148,307	37,300	1,647,159
11	35,960	585,677	944,220	10,145	449,883	13,580	2,039,465
12	325,704	502,897	1,199,701	39,250	861,311	41,764	2,970,627
13	17,158	13,400	50,500	5,395	766,708	12,705	865,866
14	476,376	246,234	313,700	108,825	958,647	184,938	2,288,720
15	58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567	1,402,650
16	—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17	—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18	—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19	—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20	—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21	—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

2 消 防

(1) 火災発生状況

平成20年中の火災発生件数は89件で、前年に比べ14件減少しており、約4日に1件の割合で火災が発生したことになる。市町村別では、奄美市が24件（奄美群島全火災の27.0%）で最も多く、次いで、知名町13件、天城町11件、瀬戸内町9件、伊仙町、和泊町8件、喜界町6件、龍郷町5件、与論町3件、大和村、徳之島町1件、宇検村0件の順となっている。

人口（平成20年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、知名町の18.9が最も高く、次いで天城町の15.8、和泊町の11.1、伊仙町の10.7、瀬戸内町の8.6の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が34件（奄美群島全火災の38.2%）で最も多く前年に比べ13件の減少、「林野」火災が5件（同5.6%）で前年と同数、「車両」火災が9件（同10.1%）で前年に比べ4件の増加、「船舶」火災が2件（同2.3%）で前年に比べ2件の増加、「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が39件（同43.8%）で前年に比べ6件の減少となっている。

火災による死者は2人で、前年に比べ2人の減少である。また、負傷者は7人で前年に比べ1人の増加となっている。

焼損棟数は59棟で前年に比べ5棟の減少、り災世帯数は37世帯で前年に比べ1世帯の増加、り災人員は84人で前年に比べ2人の減少となっている。

損害額は128,747千円で、前年に比べ433,927千円の減少で、火災1件当たり約1,447千円、1日当たり約353千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は発生しなかった。

出火原因では、野焼き等をする際の「火入れ」が17件（全火災の19.1%）で最も多く、次いで「たき火」9件（同10.1%）、「こんろ」7件（同7.9%）、「たばこ」6件（同6.7%）、「放火の疑い」5件（同5.6%）の順となっている。

(2) 消 防 現 勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員は236人で前年と比べ1人増加し、条例定員に対する充足率は、98.3%である。

また、消防吏員233人の平均年齢は41.7歳となっている。

消防団数は12団で前年と変わりはないが、消防分団数は93分団で、前年に比べ10分団減少している。消防団員は、1,521人で前年に比べ3人増加し、平均年齢は42.2歳で条例定員に対する充足率は94.4%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は100%となっており、救急自動車の所有台数は前年と変わらず21台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、充足率83%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、消防ポンプが92%、消防水利は74%であり、県平均と比較すると、消防ポンプ充足率、消防水利充足率ともに県平均以上となっている。

16-8 消 防 現 勢

資料：鹿児島県消防保安課
期日：平成21年4月1日

区分 市町村名	消防団 (消防本部)		消防団(職員)			消 防 ポ ン プ 等							消 防 水 利				
	団 ・ 本 部 数	分 団 数	条 例 定 数	現 員	平 均 年 齢	自 消 防 動 車 プ	ボ 水 ソ プ ウ 自 付 動 消 防 車	付 は 消 防 し 自 動 車 ご	小 型 動 力 ポ ン プ		救 急 自 動 車	そ の 他	ポ ン プ 充 足 率	消 火 栓	防 火 水 そう 他	そ の 他	充 足 率
									付 小 型 積 載 ポ ン プ	い 車 両 に 積 載 し て							
奄美市		19	452	415	43.3	8	2	-	37	4	-	2	-	427	141	33	-
大和村		5	52	51	39.1	1	-	-	9	-	-	-	-	-	28	9	-
宇検村		7	82	81	42.5	1	-	-	7	-	-	1	-	6	25	2	-
瀬戸内町		4	130	123	45.1	1	1	-	11	34	-	-	-	65	63	4	-
龍郷町		4	153	141	44.6	2	3	-	3	6	-	-	-	44	67	5	-
喜界町		10	120	120	40.0	2	2	-	6	1	-	1	-	-	126	4	-
大島地区消防組合	1	-	154	153	41.1	2	5	2	-	-	13	14	100	-	-	-	91
徳之島町		11	161	155	43.0	1	5	-	11	3	-	1	-	30	92	11	-
天城町		3	80	71	44.0	1	2	-	-	-	-	1	-	58	58	16	-
伊仙町		8	74	69	42.1	1	2	-	-	3	-	-	-	32	55	87	-
徳之島地区消防組合	1	-	49	46	45.0	-	3	-	-	-	4	1	100	-	-	-	77
和泊町		6	100	100	39.9	1	5	-	1	-	-	2	-	-	82	-	-
知名町		13	135	128	36.5	2	7	-	5	-	-	-	-	115	129	5	-
与論町		3	72	67	39.7	1	4	-	-	-	-	-	-	68	68	11	-
沖永良部与論地区 広域事務組合	1	-	37	37	40.6	-	2	-	-	-	4	4	100	-	-	-	68
(本部)		-	240	236	41.7	2	10	2	-	-	21	19	100	-	-	-	83
計	団12	93	1,611	1,521	42.2	22	33	-	90	51	-	8	-	845	934	187	-

注1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。

3 警 察

(1) 交通事故発生状況

平成21年の交通事故の総発生件数（人身）は、350件で前年に比べ2件増加した。

交通事故による死者は3人で、前年に比べ7人減少、傷者については400人で21人増加した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の164件（全体の46.9%）で、次いで徳之島町49件（同14.0%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、大島本島60.0%、喜界島2.6%、徳之島22.0%、沖永良部島13.1%、与論島2.3%となっている。

死者は、奄美市で2人、龍郷町で1人の合計3人となっており、前年からすると減少している。

人口1万人当たりの死傷者数は、龍郷町が46人、徳之島町が43人、奄美市が41人となっており、最も少ないのは宇検村、大和村の5人となっている。

(2) 刑法犯発生状況

平成21年の刑法犯の総認知件数は、624件で前年に比べ149件の減少となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の339件（全体の54.3%）で前年と比べると78件の減少、次いで徳之島町の67件（10.7%）で前年に比べ4件減少した。

罪種別にみると、窃盗犯が445件（全体の71.3%）と犯罪の大部分を占めている。検挙件数は268件となっている。

16-9 市町村別交通事故発生状況

資料：県警察本部交通企画課
期間：平成21年1月～12月

区分 市町村名	人口	件数	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	原付・自二 特殊農耕	自動車	合計	
総数	119,805	350	3	400	2	-7	21	25,164	77,658	102,822	33.6
大島本島	66,758	210	3	242	-8	-4	12	10,153	38,399	48,552	36.7
奄美市	46,891	164	2	189	-7	-4	10	7,798	26,276	34,074	40.7
大和村	1,879	1		1	-2	-1	-1	130	1,135	1,265	5.3
宇検村	1,923	1		1	-1		-1	129	1,430	1,559	5.2
瀬戸内町	9,963	22		24	-6		-7	1,467	5,563	7,030	24.1
龍郷町	6,102	22	1	27	8	1	11	629	3,995	4,624	45.9
喜界島	8,150	9		10	-10		-11	1,764	5,954	7,718	12.3
喜界町	8,150	9		10	-10		-11	1,764	5,954	7,718	12.3
徳之島	25,473	77		89	5	-3	7	5,498	19,775	25,273	34.9
徳之島町	12,221	49		52	11	-2	12	2,793	8,578	11,371	42.5
天城町	6,544	12		16	2	-1	7	1,361	5,101	6,462	24.4
伊仙町	6,708	16		21	-8		-12	1,344	6,096	7,440	31.3
沖永良部島	13,986	46		51	17		21	5,359	10,209	15,568	36.5
和泊町	7,262	23		28	6		10	2,825	5,338	8,163	38.6
知名町	6,724	23		23	11		11	2,534	4,871	7,405	34.2
与論島	5,438	8		8	-2		-8	2,390	3,321	5,711	14.7
与論町	5,438	8		8	-2		-8	2,390	3,321	5,711	14.7

注：1 人口は平成21年10月1日現在
2 車両台数は平成21年3月末現在

16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課
期間：平成21年1月～12月

市区町村	包括罪種	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	平成20年 の状況
名瀬市	認知	0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙	0	0	0	0	0	0	0	0
奄美市	認知	3	18	261	7	1	49	339	417
	検挙	3	19	79	5	1	19	126	185
大和村	認知	0	0	2	0	0	2	4	10
	検挙	0	0	0	0	0	0	0	4
宇検村	認知	0	1	4	0	0	1	6	4
	検挙	0	1	2	0	0	0	3	3
瀬戸内町	認知	0	7	29	1	0	15	52	77
	検挙	0	9	7	1	0	10	27	33
住用村	認知	0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙	0	0	0	0	0	0	0	3
龍郷町	認知	1	3	28	0	0	5	37	40
	検挙	1	3	16	0	0	0	20	18
笠利町	認知	0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙	0	0	0	0	0	0	0	0
喜界町	認知	1	0	24	0	0	4	29	48
	検挙	1	0	2	0	0	1	4	15
徳之島町	認知	0	2	45	4	0	16	67	71
	検挙	0	2	17	2	0	11	32	43
天城町	認知	1	4	8	0	0	4	17	15
	検挙	1	4	4	0	0	0	9	9
伊仙町	認知	1	2	13	0	0	2	18	25
	検挙	1	2	2	0	0	2	7	10
和泊町	認知	0	4	12	1	0	0	17	33
	検挙	0	4	10	0	0	0	14	15
知名町	認知	1	5	6	0	0	5	17	25
	検挙	1	5	3	0	0	3	12	13
与論町	認知	0	4	13	2	0	2	21	8
	検挙	0	4	7	1	0	2	14	7
総計	認知	8	50	445	15	1	105	624	773
	検挙	8	53	149	9	1	48	268	358

※数値については、平成22年1月7日現在暫定値。検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

また、市町村合併のあった発生地については、認知時の市町村で計上を行っている。

包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成21年に発生した船舶海難は、25隻であり前年に比べ7隻増加した。

種類別に見ると衝突8隻、乗揚5隻、無人漂流4隻、機関・舵故障3隻、転覆2隻、火災1隻となっている。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良、船位不確認などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成21年の人身事故者数は33名であり、前年と比べ3名増加したものの、死亡・行方不明者については1名減少した。人身事故の原因は、海浜事故（磯遊び、磯釣り等）に因るものが最も多く27名であった。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会と論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

平成19年4月から奄美海上保安部交通課が発足し、これまでの航行援助業務（航路標識業務、情報提供業務）に航行安全業務（海難調査、船舶交通の障害の除去、港則及び海難防止に関すること等）を加え海上交通業務を一元的に行うようになった。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における港船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高崎灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）を運用し、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリレジャーを楽しむ人々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供し海難の未然防止に役立っている。

16-11 海難事故の発生状況

(ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目 \ 年	平成19年	平成20年	平成21年
海 難 隻 数 (隻)	19	18	25
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)	0	1	0

(イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

項 目	衝突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他	合 計
平 成 1 9 年	5	2	1	0	0	5	0	2	0	4	19
平 成 2 0 年	6	5	2	1	0	4	0	0	0	0	18
平 成 2 1 年	8	5	2	1	0	2	1	4	0	2	25

16-12 海上における人身事故

(ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成19年	平成20年	平成21年
事故者数		23	30	33
死亡・行方不明者数		7	12	11

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数。

(イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び	磯釣中	その他	
平成19年	0	2	5	0	1	2	4	1	8	23
平成20年	1	5	3	0	0	3	1	4	13	30
平成21年	13	3	0	0	0	4	2	4	7	33

16-13 機動力(巡視船艇)

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	〃	149	近海	昭和56年3月
うけゆり	古仁屋海上保安署	26	沿海近海	平成21年4月
ばるさあ	〃	4.7	沿海	平成8月3月

16-14 民間救助組織

組織の区分	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
鹿児島県水難救済会	与論救難所	南政吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 79名
鹿児島県水難救済会	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 36名
鹿児島県水難救済会	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 155名
鹿児島県水難救済会	喜界救難所	加藤啓雄	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 97名
鹿児島県水難救済会	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 64名
鹿児島県水難救済会	伊仙救難所	大久保明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 112名
鹿児島県水難救済会	龍郷救難所	川畑宏友	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 320名
鹿児島県水難救済会	住用支所	朝山毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 150名
鹿児島県水難救済会	笠利支所	朝山毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 170名
鹿児島県水難救済会	宇検救難所	國馬和範	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 245名
鹿児島県水難救済会	大和救難所	伊集院幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 190名
鹿児島県水難救済会	名瀬支所	朝山毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 335名
鹿児島県水難救済会	瀬戸内救難所	房克臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 49名
鹿児島県水難救済会	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 212名

16-15 船舶交通安全協議会

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12. 17	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10. 6	奄美大島（瀬戸内町）
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成 5年 9. 27	喜界島周辺海域
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年 7. 29	奄美大島（奄美市名瀬）
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成 5年 9. 27	与論島周辺海域
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年 7. 29	沖永良部島周辺海域

16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

期日：平成21年12月31日
単位：基

市町村別	区分	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
(奄 美 大 島)			15		1					1		17
奄 美 市			7		1							8
大 和 村			1									1
宇 検 村												
瀬 戸 内 町			6									6
龍 郷 町			1						1			2
(喜 界 島)			4		1							5
喜 界 町			4		1							5
(徳 之 島)			5		1				1			7
徳 之 島 町			2		1				1			4
天 城 町			2									2
伊 仙 町			1									1
(沖 永 良 部 島)			2		2		1					5
和 泊 町			1		2							3
知 名 町			1				1					2
(与 論 島)			2		1		1					4
与 論 町			2		1		1					4
合 計			28		6		2		2			38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中 田 留 弘	奄美ダイビングセンターとめ	47	平成元年4月